

# 土壤医試験 1 級合格体験記

田中 政伸\*

## 1 はじめに

私は平成14年に士幌町農業協同組合に奉職し、それ以来13年間農産課で勤務しております。農産課は主に組合員さんの営農指導業務を行っており、栽培技術指導、営農支援、種苗事業など、組合員さんの営農を多岐にわたってサポートする仕事をしています。

中でも栽培技術指導は、作物の栽培における生育診断や病虫害の防除対策、土壌分析に基づく施肥指導など、いわゆる経験値がモノを言う仕事で、組合員さんと信頼関係を築くには相当の勉強と努力が必要となります。

業務の中で、毎年12月から1月の2ヶ月間、組合員さんが次年度使用する農薬や施肥相談を行います。現在は約5割にあたる120戸の組合員さんが実施され、年々相談件数は増加していますが、経験が浅い職員は、専門的な質問に対して十分な知識がないことから、なかなか対応できない状況となっております。

そこで、平成24年度より開始された土壤医検定試験を、農産課職員全員で受験することとなりました。これについては、施肥相談に来られる組合員さんも、対応する職員が土壌における資格を有していた方が安心できる



農産課 施肥相談風景

であろうことと、経験が浅い職員でも資格を有することによって、知識の研鑽と自分への自信となるだろうという狙いがありました。

初年度の検定試験には1級の試験がありませんでしたので、私はまず2級を受験致しました。その際は特別な勉強もせずに、運良く合格することができました。

翌年度からは1級の試験が開始されたことから、受験しましたが結果は不合格。そして再度翌年度に受験し、幸運にも合格することができましたので、私が1級試験を通じて感じたこと、私なりの受験対策について以下に記したいと思います。

## 2 試験対策について

土壤医検定1級試験は、4択マークシート試験、記述試験、業績レポートの3つで構成

\*士幌町農業協同組合（北海道）、  
26年度土壤医1級合格者

されています。

そのうち業績レポートについては、事前に作成し試験当日に提出することとなっているため、予め十分な準備をして臨むことができます。

業績レポートは、①土づくり指導、②土づくりに関する調査・研究、③土づくりの実践とうテーマから選ぶこととなっておりますが、1級を受験される方はすでに長年の実務経験がある方ばかりだと思いますので、テーマや内容についての選択はそれほど難しくはないと思います。

レポートを記述する上での私なりの注意点ですが、レポートは800字以内で提出しなければならず、書いてみるとわかるのですが、分量としては非常に少なくなっています。ですから内容の細かい部分については、できるだけ削ぎ落とし、簡潔にまとめることが必要です。

極端に言うと、①何が問題で、②どういう対応して、③どういう結果が出たかの3点をわかりやすく説明することを心掛けました。

というのも、業績レポートには参考資料の添付が認められています。ですからデータなどの細かい部分はそちらで充分説明することができるからです。私は参考資料には、研修会資料や、報告文書などを添付しました。

業績レポートの配点は25点となっていることから、事前に用意できる部分としては、大きな配点と言えます。業績レポートは一度でも受験していると「B」判定以上で、翌年度へ持ち越すことができますが、一度受験し「B」判定だった場合は、現状に満足せず、何が減点となっているのかを考え、適宜修正してより高い得点を目指すことが合格への近道と思われます。

次に4択マークシート試験と記述試験への

対策ですが、これは土壤医検定1級対応参考書の「土壤診断と対策」を隅々まで読むことをお勧め致します。逆に言えば、これ以外の参考書は必要ないと言えます。

しかしながら、参考書の内容は膨大で多岐にわたっていることから、単純な暗記作業は意味をなさないと思います。自分の経験やそれぞれの項目を関連づけて覚えることが重要です。

私は畑作物に関する業務を日々行っていますが、稲作や果樹に関しては全くの素人でした。そのため参考書を読む際は、できるだけ作物の生育をイメージしながら、覚えていくようにしました。

学科試験は4択のマークシートで50問、記述試験は5問の合わせて55問を70分の試験時間で解答しなければならず、設問で悩んでいる時間はほぼないと思った方がいいと思います。ですからそれぞれの項目についての理解度を相当に高めておく必要があります。また、裏技というほどのものではないですが、私の経験上、記述問題から先に解き始めることをお勧め致します。記述問題の配点は5問で25点と非常にウェイトが高くなっているからです。

記述問題は一つの解答を求めるものもあり



各地区研修会の様子

ますが、複数の解答を求める設問もあります。

この部分はある程度時間がかかりますので、試験開始直後に取りかかる方が、時間配分と得点のバランスを考えたときに良いのではないかと思われます。

学科試験のマークシートは、非常に細かい部分の設問もありますが、即答できるサービス問題も必ずあると思いますので、それらの取りこぼしを少なくすることで、得点を積み重ねることができると思います。

### 3 最後に

私は前述の通り、一度土壤医試験1級に不合格となりました。その経験を踏まえて、翌

年度は試験対策を立てることができました。

ですので、1級試験を受験するか現在悩んでいる方は、まずは一度受験を試みることをお勧めします。不合格になったとしても、試験の雰囲気や流れを感じるだけでも、得られるものは大きいと思います。

試験に合格することも重要な目的ですが、試験に向けて対策を練り、勉強することは、必ず日々の業務などに役立つものと思います。

最後になりますが、今回の土壤医試験1級合格を通じて、学んだことや得た経験を、今後の地域農業の発展に生かしていきたいと考えております。

